

青年部

進化する青年部

青年部副部長 宮下 智彦

日頃から青年部活動にご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。

不況真っ只中から中島代表を中心に精力的に地域振興活動を行ってきた我々青年部も2年目の締めくくりに年を向かえております。第38回年末チャリティーでは内山委員長のもと、チームワーク&フットワークで大成功に開催することができました。

数年前からの不況により激減してしまった名入れだるまは、各役員が各企業などに青年部のチャリティー活動をご理解いただき昨年を上回る注文をいただきました。

新しい試みとしては、当日の会場レイアウトを一新にぎやかなだるま売り場作り、そして、部員手作りによる参道のイルミネーションなど参拝された方々にもご好評を頂き、次回に向けて新しい一歩が踏み出せたと



思います。また、昨年に引き続き、町からの依頼を受けA B NふるさとCM大賞に応募いたしました。今年のテーマは『ねずみ大根と坂城のテクノロジー』のコラボレーションです。大雨の中、和平方原に撮影に行ったりねずみ大根をおろすための大根おろし器も部員の工場で作りました。結果は2年連続で78作品中30作品の最終選考会まで残り今回は奨励賞をいただきました。今年、青年部は発足40周年を迎えます。我々部員一致団結し活動していきます。皆様のご支援の程をよろしくお願いいたします。

女性部

女性部部長 滝澤 洋子

長野県女性部連合会では今、地域社会に貢献する事業として「地域資源を活用した健康食品づくり事業」を展開しています。自分の住んでいる地域で採れる物を大切にし、昔から伝わる食べ方を伝承しながら、新しい調理方法も考え、次の世代にレシビとして残し、県内外にPRし、健康づくりに役立たせよう。それを「女性部事業の活性化につなげたい」という目的です。

二月十日に松本で開催される研修会には、各支部の試食品の発表が行われました。それに先立ち北信支部では、一月二十日料理研究家の横山タカ子先生を講師に「健康と地域食材」というテーマの研修が行われ、長寿県と地域食材との密接な関りを学びました。①水が豊富でおいしい。水は全ての食物の源②五十九種類の伝統食物がある。それを生かす③発酵文化がある(漬物)添加物を入れないで天然の塩で正しく漬けた物は免疫

力をつける。健康な長寿は二汁三菜の生命ラインが生む。づくを出した丁寧な生活が基本なのです。坂城町女性部の活動では「若手後継者等育成事業」として、昨年九月二十八日坂城、戸倉上山田の女性部、青年部合同では初めての研修会が開かれました。自分分析する。仕事中の自分はどういう性格なのか?興味ある研修でした。十一月に行われた商工会女性部全国大会で同時開催された「ふるさと小包グランプリ」は、坂城町女性部の出品「信州さかき町の味をおすそわけ」が上位六点に入選しました。三月から全国販売の機会が与えられます。地元の食材が全国発信される事をうれしく思います。



東京池袋でも展示されました

編集後記

年が明けてから漠然とした不安の中にある。多くの経営者から「先が見えない」との声を聞く。たぶん、自分でもそう思っているのだろう。

しかし、逆に先が見えてしまったら、やる気がなくなってしまうのかもしれない。

見えずに「不安」となり、見えて「不満」となる自分に悶々としていたところ、山根屋の沓掛喜久男さんが信毎歌壇で詠んでくださった。

「蓮・竹輪・ドーナツ・五円玉穴あらば覗きみるべし未来永劫」

今年は、目先のことにとらわれず、穴を覗いてみましょうか。先のもっと先を覗いてみましょうかねえ。

(関戸)

広報編集委員会

- 委員長 関戸 啓司
- 副委員長 春日 忠雄
- 委員 池田 尚弘
- 委員 佐藤 洋子
- 委員 中島 新一
- 委員 滝澤 洋子
- 委員 宮下 智彦